

# 中華民國 台湾投資通信

Vol. 310  
Nov 2023

## 蔡英文總統、安倍昭恵女史と面会。安倍元首相の台日関係への貢献に感謝

蔡總統は安倍昭恵女史と会見、台日の友好情誼が続くことを願うとともに、将来も相共に努力し、台日友好関係を不断に前進させることを表明しました。

## 日本台湾商会連合總會団が熊本県を訪問 緊密な台日経済貿易交流

日本台湾商会連合總會団が熊本県を訪問し、当地の商工団体と台日経済交流促進会を共催。熊本県は台積電(TSMC)が工場を新設するため、台湾との交流が緊密化する趨勢。

## 台日経済貿易の動向

台日間の投資と事例、技術協力、産業連携

## 近々の台日経済貿易活動

2023年台湾ビジネスアライアンスカンファレンス、第38回 ネブコン ジャパン、CPHI Japan 2024(国際医薬品開発展)。

## 最近のトピック

# 總統が安倍昭恵女史を接見 安倍元首相の台日関係への貢献に感謝 台日の友好情誼が続くことを希望

蔡英文總統は2023年7月19日「故安倍晋三元内閣総理大臣夫人安倍昭恵女史一行」を接見、安倍元総理が台湾に示した真摯な情誼と支持に対して感謝の意を表しました。總統は、過去に安倍元総理が台日関係に進んで行った貢献を信じていること、現在は安倍昭恵女史を通じて、台日官民が継続して協力すればさらに豊富な協力成果を挙げられること、将来も相共に努力し、台日友好関係を不断に前進させることを表明しました。

また蔡總統は、安倍元総理は常に行動をもって台湾への支持を示していたことを指摘しました。新型コロナウイルス感染症の時期、元総理は420万回分のアストラゼネカ(AZ)製ワクチンを台湾に無償

供与するよう日本政府に促すほか、「台湾有事は日本有事」と主張、台湾重視をさらに明確にしました。元総理および多くの日本の友人が努力してきた結果、台日間の交流はますます緊密化、「善の循環」を形成し、世界の民主主義と繁栄に貢献しています。

安倍昭恵女史は、今回の台湾訪問では日台間のまやかしのない深い友情に強い感銘を受けたこと、日本と台湾は良好な相互信頼関係を築いており、それが両国が重厚な友情を擁する主な理由であると確信していること、また元総理の遺志を堅持し全力を挙げて日台両国関係の発展を促進していくこと、を述べました。

## 日本台湾商会連合總會団が熊本県を訪問 緊密な台日経済貿易交流

日本台湾商会連合總會(日本台湾商工会議所)団は2023年8月28日に熊本県を訪問、当地の商工団体と共同で台日経済交流促進会を開催しました。蒲島郁夫熊本県知事は、台湾積体電路製造株式会社(台積電)が熊本県に工場を新設するという情報が伝わってから日台交流はさらに緊密化しており、将来は経済貿易の往来がさらに深まりビジネスチャンスを共創していくことを期待しています、と語りました。

2021年11月に台積電は熊本県に工場を建設することを発表、熊本工場(子会社のJapan Advanced Semiconductor Manufacturing 株式会社:JASM)第一期

の社員は台湾から来た台積電の社員で、人数は家族を含めて600名、工場は来年2024年秋の稼働予定です。台湾の人々ができる限り早く熊本県での生活に慣れるよう、熊本県外国人サポートセンターでは今年8月から「台湾相談ホットライン」サービスを提供しています。

熊本県商工会連合会の笠愛一郎会長も、将来熊本県特産品の台湾での販路が開拓されることを切に希望するとともに、今後は台積電関連企業だけではなく、台湾と熊本県が貿易や観光等多方面で協力し発展することを期待しています。

## 台日經濟貿易の動向

### 台日双方の投資概況と事例

經濟部投資審議委員会の資料によると、過去から2023年9月までの日本企業の対台湾投資は11,796件、金額は264億米ドルに達します。日本は対台湾投資第4位の国であり、このことは日本企業が台湾市場と台湾産業の優位性を相当重視していることを示しています。一方、台湾の対日投資は958件、累計金額では121億米ドルになります。台湾の対日投資は最近急増していますが、この主な理由は近年台湾の半導体企業が継続して日本とのサプライチェーンリンクに加わり、またそれを強化しているからです。台日半導体産業には補完性があります。台湾は最先端製造工程の研究開発と製造の両面で先頭を走っており、日本は半導体材料と製造設備で優位性を備えています。くわえて地理的に接近しており、拠点や技術者の移転(移動)時間、そしてそのコストはすべて管理可能です。各方面から検証したところ台湾と日本が最も良い連携パートナーです。

日本企業の対台湾投資では、台日企業の相互補

完性が高いうえ、日本の半導体関連企業は地理的な優位性を有していることから、台湾市場の需要に応じるべく対台湾投資を増やしています。富士フィルム株式会社の関係会社である台湾富士電子材料株式会社は新竹県に新工場を建設、2026年に商業ベースでの生産を開始、CMPスラリーとフォトリソグラフィ関連材料を製造します。また同社は台南工場でも設備と生産ラインを増設し、2024年にCMPスラリー生産ラインの新設を完成させる予定です。

三井物産株式会社は、カナダの電力会社Northland Power Inc.と共同で台湾の洋上風力発電事業「海龍洋上風力発電計画」に投資することを公表しました。「海龍洋上風力発電」は彰化県の外海45-70kmのところの73基の風力発電機を設置します。2025年から2026年に電力系統への連携発電を開始、5000を上回る就業機会を提供し、100万戸を超える家庭に電力を供給する見込みです。

## 台日技術協力

富士ソフト株式会社は2023年7月3日、東京秋葉原オフィスに5Gプライベートネットワークのテストエリアを設けました。マイクロソフト社の5Gコアネットワーク関連機能を採用、Azure Stack Edge エッジサーバーと管理を行う「Microsoft Azure Private 5G Core」を備え、和碩聯合科技株式会社(Pegatron)の5Gプライベート基地局「Pegatron 5G ORAN Portable」と組み合わせています。これは日本で初めてAzure Private 5G Coreを採用した5Gプライベートネットワークテスト環境の事例です。この事例では、既存のシステ

ムと高い親和性を持つAzure Private 5G Coreを採用してコアネットワークとし、和碩の移動可能なハードウェアを導入、5Gスタンドアローン(SA)式アーキテクチャーを構築しました。テスト作業では低軌道衛星通信と結合、Microsoft Azureの高速伝達、アクセス性・安全性というクラウドの特性を活用し、模擬実験では遠隔地や海域など通信が届かない場所、災害現場、モバイルヘルスあるいは軍事行動など緊急事態での使用を想定しています。

## 台日産業協力の発展

中華民國三三企業交流会(三三會)は、2023年6月29日に、同会と台日商務交流協進会(TJABC)は、台日のサプライチェーンおよび経済貿易関係を強化するため、熊本経済同友会・熊本県商工会議所連合会・熊本県商工会連合会・熊本県中小企業団体中央会・熊本県経営者協会の5経済団体と基本合意書(MOU)に署名、この基本合意書は同会が新型コロナウイルス感染症以降初めて日本の経済団体と締結したものである旨を発表しました。日本は半導体産業の川上における重要な材料と部品を抑えているうえ、大量の研究開発成果と特許を擁しています。台湾は高レベルの人材、生産製造、そして完全なサプライチェーンネットワークという面で優

位性を持っています。熊本経済同友会の笠原慶久代表幹事(株式会社肥後銀行代表取締役頭取)は、台湾の半導体企業「台積電(TSMC)」が熊本県に進出、工場を建設するのを契機に関連する川下川上のサプライチェーンに限らず、民生・商業活動も合わせて発展しています。将来は熊本県と台湾がさらに多くの面で交流するでしょう。今回の基本合意書署名は熊本県と台湾のビジネス協力に焦点を合わせたものであり、日台両国の産業と貿易をさらに融通のきくものにし、日台産業のサプライチェーン体系の連結、研究開発、人材養成など多方面での協力を深めるものです、と述べました。

# インフォメーション・コーナー

## 2023年台湾ビジネスアライアンスカンファレンス

会議時間：2023年11月27日(月)午後2時～4時30分(受付：午後1時～2時)

会議場所：南港展覽館二館7階E、F会議室(台北市南港区)

活動内容：AIが勃興するにつれて、その影響はウェーハのOEMから半導体パッケージング、放熱、システムアセンブリーなどサプライチェーン全体に及んでいます。2023年の台湾ビジネスアライアンスカンファレンスでは、一歩進んで専門家の学者やグローバル企業の代表を招いてAI技術のうねりとサプライチェーン再構築下の台湾ソフト・ハード両産業における投資機会を討論し、ビジネスチャンスの共創という目的を達成します。

主催：経済省

運営：投資台湾事務所、財団法人金属工業研究発展センター

活動情報：<https://inves-taiwan.com/event/R9DK5785YQQJ>

## 第38回 ネプコン ジャパン—エレクトロニクス開発・実装展—

開催時間：2024年1月24日(水)～1月26日(金)

開催場所：東京ビッグサイト(東京国際展示場)

活動内容：本展示会はエレクトロニクス製造関係では日本で最も専門的な展覧会です。出展の範囲はエレクトロニクス製造関連製品、検査・測定設備、電子部品、プリント配線板、先端電子材料および精密加工技術などです。本展示会は7つの構成展から成っています。

参加募集：台湾区電気電子工業同業公会

活動情報：<https://www.teema.org.tw/exhibition-detail.aspx?infoid=42020>

## CPHI Japan 2024(国際医薬品開発展)

開催時間：2024年4月17日(水)～4月19日(金)

開催場所：東京ビッグサイト(東京国際展示場)

活動内容：国際医薬品開発展(CPHI)は医薬品原料および中間体業界の規模大にしてレベルも高く、最も知られた展覧会です。毎年欧州、日本、インド、南アメリカで定期的で開催されます。今回の展覧会は2024年4月17日から19日にかけて東京で行われ、日本最大の専門国際医薬品原料展開会でもあります。2024年は特にCMO(医薬品受託製造企業)、CDMO(医薬品受託開発製造企業)およびガン治療薬の開発が期待されているバイオフーマの展示エリアを設けます。

参加募集：国家科学と技術委員会南部科学園区管理局

協力：財団法人金属工業研究発展センター

活動情報：<https://www.cphijapan.com/>

# 投資相談窓口

### 投資台湾事務所

台北市中正区襄陽路1号8F  
+886-2-2311-2031

### 経済省投資促進司

台北市中正区愛国東路82号3F  
+886-2-2389-2111(内線:214)  
担当：黄雅綾

InvesTaiwan:



<https://investtaiwan.nat.gov.tw/homePage?lang=jpn>